



News & View 佐賀大学病院ニュース

— 患者さん・地域の皆さんとの絆を深める広報誌 —

SAGA UNIVERSITY HOSPITAL NEWS



〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1番1号 TEL.0952-31-6511 (代)

病院ホームページ <https://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/>



教授就任のご挨拶（精神神経科）

僧帽弁閉鎖不全症の“新たな”治療について

立体駐車場を新設しました

TOPICS

カチ★スタ（第1回：特定行為研修修了看護師）

診療科紹介/連携病院紹介

INFORMATION

▲新設立体駐車場のオープン

ご自由にお持ちください

No. 53
2024.3

座右の銘

活きる
活かす

5
診察室

精神神経科 教授

溝口 義人

精神保健指定医（厚生労働省）

日本精神神経学会（専門医・指導医・認知症診療医）

日本医師会（認定産業医）

九州精神神経学会

日本臨床精神薬理学会

The Society for Neuroscience

教授就任のご挨拶

2023年7月1日に佐賀大学医学部精神医学講座の教授に就任しました溝口義人と申します。私は福岡市の出身で1998年に本学を卒業後、九州大学病院精神科に入局し、九州大学病院精神科、大牟田労災病院で勤務し、その後、九州大学の大学院に進学しました。医学博士号を取得後、神経科学分野の基礎研究者として研究活動をしていた時期もございます。米国ピッツバーグ大学留学から帰国後、若久病院等での勤務を経て、本校の講師、准教授として勤務して参りました。

当講座では日本精神神経学会専門医7名を含む12名で、本学の診療、教育、研究業務に携わっております。診療におきましては、当院は佐賀県内で唯一の精神科病床を有する総合病院であり、身体合併症などで高度な医療を必要とする方や認知症の鑑別を

要する方など、佐賀県の精神科医療の最後の砦として重要な役割を担っております。また、病院内におきましては、せん妄やストレスによる抑うつ、不安などに他の診療科と協力して対応するリエゾンチーム、当直医としての業務など幅広く活動しております。

児童・思春期（育ち）から老年期（老い）に至る多様な精神疾患について、生物学的側面と心理・社会的側面の双方を重視した臨床を基本とし、神経科学、薬理学から心理学、社会学、文化人類学など幅広い学問に興味を持って取り組める、「治せる精神科医」を育成すべく、臨床、研究、教育と丁寧に取り組んでいければと考えております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

▼精神神経科の皆さんと



僧帽弁閉鎖不全症の “新たな”治療について

胸部・心臓血管外科
准教授

柚木 純二

心臓弁膜症のひとつ「僧帽弁閉鎖不全症」に対する専用のクリップ（マイトラクリップ®）を用いたカテーテル（管）治療「経皮的僧帽弁接合不全修復術」に、当院が佐賀県内で初めて成功しました。

僧帽弁は心臓の左心房と左心室の間にあり、弁がうまく閉じなくなる閉鎖不全症により、血液の逆流が生じて心臓に負担がかかり、息切れや動悸（どうき）、けん怠感といった症状につながり、心不全のリスクも高まります。

実際の手技は、足の付け根の静脈からカテーテルを入れて心臓まで到達させ、長さ15ミリのクリップで僧帽弁の一部をつかむことで逆流を軽減させます（図1）。通常の開胸手術とは異なり、胸部に傷ができず心臓も止める必要がないため体の負担がとても小さく、開胸手術が困難な患者さん、具体的には75歳以上で心臓機能が落ちている方や心臓以外の合併症を多く持っている方などがこの治療の対象になると考えております。

本治療は日本循環器学会が認定した施設のみ施行可能で、当院では約半年間かけて準備を行い2023年

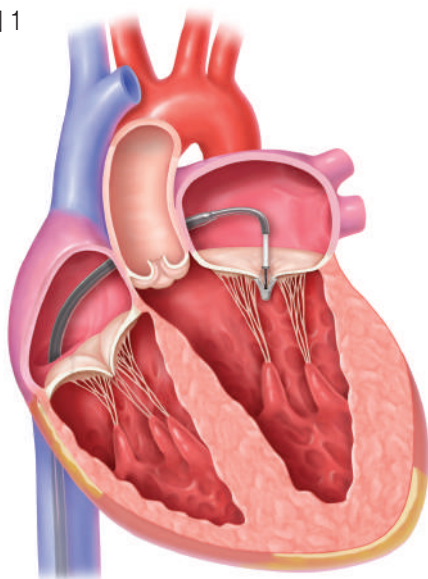


▲カテーテルを用いた手術の様子

8月に実施施設として認定を受けました。第1例目の80代男性患者さんは5日後に退院されるなど、現在まで3名の患者さんを治療し、皆様にとっても喜ばれております。

「それぞれの患者さんに合った最適な治療を、県外に行かなくても受けられるように。」という思いで、開胸手術ができずに治療を諦めていた人の力になればと思っております。お悩みの方は、心臓血管外科、循環器内科医師に気軽にご相談ください。

図1



©2013 Aesculap. All rights reserved.



▲（左）循環器内科 吉岡医師
（右）胸部・心臓血管外科 柚木准教授



立体駐車場を新設しました

当院では、慢性的な駐車場の不足解消及び当院に通院される患者さんのさらなるサービス向上を目指して、南駐車場に立体駐車場を建設いたしました。

立体駐車場建設にあたっては、2022年12月から2023年9月までの約9ヵ月余りを要し、ご利用の患者さん等には大変ご不便をおかけしました。立体駐車場完成後は、駐車台数がこれまでの639台から949台へ310台増加するとともに、立体駐車場は二層三段構造で1階部分に身障者駐車場を42台分確保し、歩行が困難な患者さんの利便性を向上するために車椅子置き場も新設しました。



▲竣工式の様子

正面玄関まで雨に濡れずに行けるようになりました

立体駐車場から病院正面玄関への動線であるプロムナードの横断歩道には、トラス構造の頑丈な屋根を敷設しました。また、既設の歩行が困難な方専用駐車場にも屋根を敷設し、雨の日であっても濡れることなく病院玄関までアクセスすることが可能となりました。

▼トラス構造歩道屋根



▼歩行が困難な方専用駐車場





▲ふれあい看護体験ワーキングメンバー、協力いただいたスタッフ

2023

8/7

ふれあい看護体験 (WEB開催)

看護職を志望する高校生が病院を訪れ看護業務を見学・体験することにより、看護職について理解を深める目的で開催しています。当院ではWEBで開催し、佐賀県内から54名の高校生に参加いただきました。スタッフから高校生へメッセージを送ったり、先輩看護師との交流会・情報交換会などを行いました。高校生にとっては、看護や医療に関心を持ち将来像を具体化する機会となり、参加した看護師にとっては、日々の看護を振り返る良い機会となりました。



2023

9/15

佐賀バルナーズがこどもセンターを訪問

子どもたちへの奉仕活動に取り組む佐賀キワニスクラブの協賛で、プロバスケットボールチーム・佐賀バルナーズの葛原大智選手と相原アレクサンダー選手に当院こどもセンターを訪問いただきました。両選手からはサイン入りユニホームやボールをプレゼントしていただき、シュートレッスンや病室への訪問を通じて入院中の子どもたちと交流しました。

TOPICS



2023

12/7

令和5年度佐賀大学医学部附属病院連携病院長会議を開催

今年度はホテルニューオータニ佐賀で開催し、来賓48名、院内49名が出席しました。野口満病院長の挨拶で開会し、松永啓介佐賀県医師会会長から挨拶を賜りました。新任教授挨拶、メディカルサポートセンター活動状況報告に続き、当院より「がんセンターについて」「佐賀県研修医のマッチング結果」「医師の働き方改革への取り組みについて」といったプレゼンテーションを行いました。会議後は織田正道先生に乾杯のご発声を頂き、4年ぶりに懇親会を開催しました。久々に自由な意見交換ができた会になりました。吉原正博佐賀市医師会会長に閉会挨拶を賜り、盛会のうちに終了いたしました。今後も地域医療の向上・発展に努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



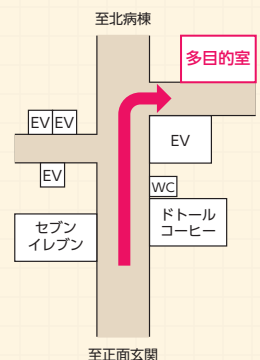
がんサロン「あおぞら」のご案内

当院では、がん患者さんとそのご家族を対象に、情報収集や患者さん同士お話のできるがんサロンを開催しております。事前の申し込みはいりませんので、気軽にお越しください。

日 時：毎月第1・3月曜日
11時～14時

参加費：無料

場 所：当院1階 多目的室



カチ★スタ



当院で輝く
スタッフを紹介！

第1回目は特定行為研修を
修了した看護師2名です。

※特定行為研修：看護師が手順書により診療の補助としての特定行為を行うために必要とされる、臨床判断能力と臨床実践能力を習得するための研修です。

第1回



南里 誠二さん



家永 誠也さん

名前：南里 誠二 職名：看護師（術中麻酔領域特定行為研修修了者）

1 仕事内容を教えてください。

主に動脈採血・動脈ライン確保・呼吸器関連の特定行為を行っています。また、業務を通じてスタッフへのアドバイスや指導を行っています。

2 特定行為研修を受講したきっかけは何でしょうか。

患者さんの状態が急変し、家族が最期に立ち会えない場面を幾度と経験しました。そのような状況に“アセスメント能力があれば早く気付けたのではないかと”感じることもあり、研修を受けることで包括的なアセスメント能力の向上が図れ、異常の早期発見や少しでも患者さんの状態を安定化させることができるのではないかと考え受講しました。

3 仕事への意気込み、思いを教えてください。

学んだ知識や技術を看護に繋がられるよう意識してスタッフに伝達できればと考えます。また後輩看護師が良い看護ができた実感できるようなサポートができればと考えます。



患者さんの状態にあわせて、人工呼吸器を調整

名前：家永 誠也 職名：看護師（術中麻酔領域特定行為研修修了者）

1 仕事内容を教えてください。

実際に実施する特定行為としては、動脈圧ライン確保や直接動脈穿刺による採血、血液ガスの評価などを行っています。また、横断的な活動としてRRSや週1回手術部での術中麻酔管理業務に携わっています。

※RRS…Rapid Response System（院内迅速対応システム）。早期に患者さんの急変に気付き、心停止になる前に介入することで病状についての見通しを改善する仕組み

2 特定行為研修を受講したきっかけは何でしょうか。

日頃から院内、院外業務の中で循環動態が不安定な患者さんや危機的状況の患者さんに接する機会が多く、状態が悪化される患者さんに遭遇することも度々ありました。そのような状況に遭遇しても対応できるように必要な知識や技術、臨床推論能力は看護師としても必要だと感じ、受講しました。

3 仕事への意気込み、思いを教えてください。

今後も自己研鑽に励み、知識や技術を診療や看護の場で生かせるように活動していければと思います。また、実際の症例を通し、スタッフへのタイムリーな教育的介入ができればと思います。



血液検査のデータを分析

診療科紹介

〔整形外科〕

「思いやりのある効率的で質の高い医療」を目指して

整形外科を受診する患者さんは新生児から高齢者まで幅広く、対象疾患は上肢・下肢・脊椎、関節リウマチ、骨粗鬆症と非常に多岐にわたります。手術は毎年1000例以上行っており、昨年度は1124例の手術を行いました。変性疾患に対する手術から高難易度手術まで幅広く行っており、月～金曜日まで毎日手術を行っています。整形外科の手術は機能再建手術であり、患者さんの生活の質を高められるよう治療にあたっています。

当科は股関節外科の症例が最も多く、現在は、股関節外科に加えて、脊椎外科、下肢（膝・足）関節外科、上肢（肩・肘）関節外科、スポーツ整形、骨粗鬆症など専門性の高い診療を行い、月・水・金の午前中に各専門外来を開設しています。地域の整形外科医の先生からは、たくさんのご紹介を頂くとともに、術後のリハビリテーションなどの受け入れも頂いており、地域と密着した体制を構築し診療を行っています。

基礎研究では、①抗菌性生体材料（人工関節やインプラントなど）、②骨粗鬆症に関する研究、③バイオメカニクス研究（3次元動作解析装置やスマートシューズ）、④XR技術を用いた教育・研究など、教室の理念に基づいた研究をしています。

特に、当科と京セラ株式会社で共同開発を行った銀を使用した抗菌性人工股関節・脊椎インプラントは、手術後の感染症の予防に大きく寄与することが期待され、国内では多くの施設で使用されています。当科でも2016年から使用を開始し、その良好な術後成績を国内外に発信しています。



▲銀を使用した抗菌性人工股関節・脊椎インプラント



連携病院紹介

佐賀市立富士大和温泉病院

病院長 杉岡 隆

当院は佐賀市富士町にあり、佐賀大和ICから車で10分程北上したところ、周囲を山や川に囲まれた自然豊かな場所に立地する市立病院です。診療科は総合診療科を含む内科、外科、整形外科、眼科、消化器科、呼吸器科、リハビリテーション科、放射線科、循環器科（休診中）の9科を標榜し、訪問看護や通所リハビリ、訪問リハビリ、居宅介護支援など介護保険事業も併設しています。

また、内科各科の専門医及び外科医と整形外科医も常勤する二次医療機関であることに加えて、総合内科医の育成を目的として2012年には佐賀大学医学部附属病院地域総合診療センターを開設しました。一般内科的疾患の総合的な医療と研修を行うとともに、緊急時の対応や精密検査を必要とする場合など佐賀大学の各診療科とより一層連携できるようになり、安心して受診していただける環境が整いました。

今後も佐賀大学と連携を深め、地域に根ざした診療を行いながら地域の皆様に愛され信頼される病院を目指してまいります。



お問い合わせ

〒840-0516 佐賀市富士町大字梅野1721-1

☎ 0952-63-0111



INFORMATION

WEB配信・視聴無料

県民公開講座

「頭頸部がんの最新治療」

視聴期間：2024年2月1日(木)～3月31日(日)

第一部

本院がんセンターについて
(がんセンター長 勝屋 弘雄)

がんゲノム検査って何をするの？
(がんゲノム診療部門 中島 千穂)

第二部

頭頸部がんについてー病気から最新治療までー
(耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授 山内 盛泰)

お問い合わせ

TEL：0952-34-3765
(医事課、平日8：30～17：15)

こちらのQRコードより
ご視聴ください



申込不要・参加無料

炎症性腸疾患 市民公開講座 in SAGA 2024

日時：2024年3月23日(土)
14：00～16：00 (開場13：30～)

会場：アバンセ ホール
(佐賀県佐賀市天神3丁目2-11)

講演

IBDセンター外来看護師の取り組み
(佐賀大学医学部附属病院看護師 南里 穂)

炎症性腸疾患患者の排便コントロールと生活の
質アンケート結果
(九州IBDフォーラム代表 秀島 晴美)

パネルディスカッション

IBD患者の就労支援について
(司会 消化器内科教授 江崎 幹宏)

※定員数超過の際にはご入場をお控え頂く場合があります。

あなたの携帯電話に診察順番をお知らせする ショートメールを送ります

診察の順番が**3番目以内**になった際に、登録されている携帯電話へ
ショートメールを送信するサービスです。
通知が届きますので、表示盤から離れて待つことが可能です。

★ご希望の方はお申込みが必要です。

外来1階の**記載台に設置している申込書**を
「1階計算受付」にご提出ください。
翌受診日から通知が届きます。(検査のみの受診は除きます)

携帯電話に通知が届くから
お好きな場所が待合室に！



佐賀大学医学部附属病院

〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1番1号 TEL.0952-31-6511 (代)
病院ホームページ <https://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/>

発行 佐賀大学医学部附属病院 広報委員会

よろしければ読者アンケートにご協力ください

佐賀大学
病院ニュース
第53号
読者アンケート



アンケートはこちら



外来担当医、
開設日はこちら